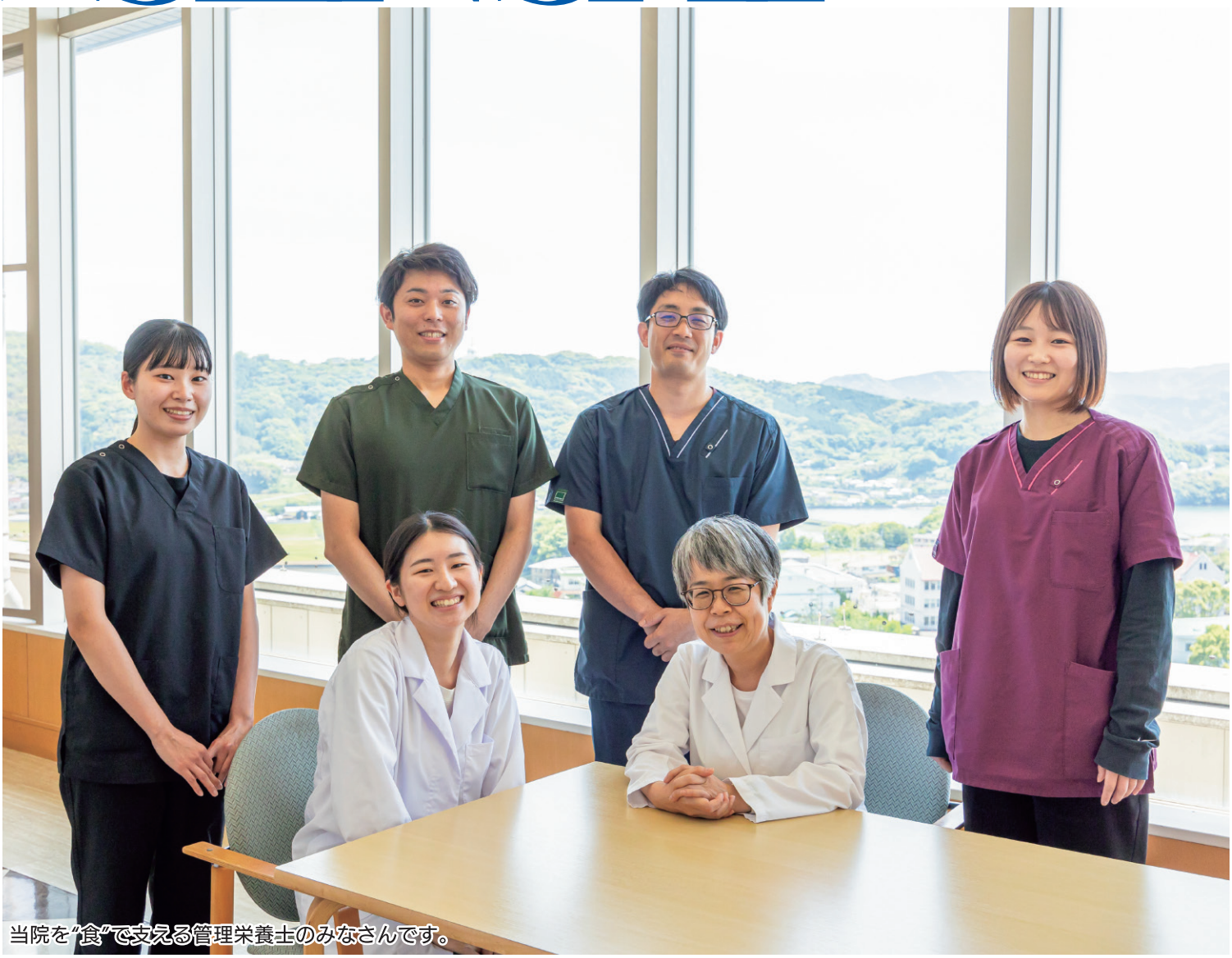
長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2024 JULY VOL.426

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



当院を“食”で支える管理栄養士のみなさんです。

医長紹介
乳腺・内分泌外科医長　森田 道

プロフェッショナルを紹介します!!
Vol.3　福田 明子

TOPICS
・新任医師紹介
・第34回大村地域医療連絡協議会のご報告
・令和6年度永年勤続表彰式

人生100年時代の予防医療
第10回　RSウイルスワクチン登場

院長'sVOICE　Vol.2

ガーデニングだより　Vol.16

院内さるく Vol.17
医療情報システム委員会(SV会議)

今月の一皿

外来診療担当医一覧

長與 專齋(1838年～1902年)

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

乳腺・内分泌外科医長　森田（もりた）　道（みち）

Hope for the BEST.
Prepare for the worst.





令和6年4月より、長崎医療センターで乳腺・内分泌外科を担当しております、森田 道（もりた みち）です。「最善を望み、最悪に備える（Hope for the best, prepare for the worst）」をモットーに、日々の診療にあたっています。

乳癌は日本人女性がかかる癌の中では最も多い癌で、今や9人に1人が経験するといわれるほどです。また、年代別にみると、30代から患者さんの数が増え、40代後半と60代のふたつのピークはありますが、30代以降の全年代で発見されるリスクのある病気です。30代～60代といえば、家庭生活でも結婚・妊娠出産・子育て・介護と大きな役割を担うことが多い年代ですし、社会生活でも、たとえば、仕事で責任のあることがらを任されたり、団体の代表的立場に立ったり、地域の中心となって社会を運営したりと、ひとりひとりがそれぞれに、自身のため、他者のために精一杯生きている年代かなと思います。（この年代を壮年期と定義し、気力・体力共に最も充実している、と表現されていることもあります。ただし、この定義にはゆれがあります。）

そんな方々の日々の生活が、病気や治療によって全く奪われてしまうということがないように、限られた診療時間の中ではありますが、その方が培ってこられた生活文化を少しでも教えていただき、ご本人、ご家族と同じ目標を共有して治療の相談ができるように努めていきます。









プロフェッショナル
を紹介します!!

Vol.3 福田 明子先生

消化器外科、特に大腸外科を専門に取り組んできた外科医です。ロボット手術のスペシャリストでもあります。

Q 医師を目指したきっかけは何ですか？

A 特に身近に医療従事者がいたわけではなく、漠然となにか人の役に立つ仕事がしたいと思っていました。もともとは心身症に興味があり医師を目指しましたが、学生実習で流れるような手術やチームの一体感を見て大幅に方針転換し、外科に進みました。

Q 先生が専門とされているロボット手術について少し教えて下さい。



A 当院で採用されているda Vinci Xiは①ロボットの頭脳であるビジョンカート、②患者さんに接続するペイシャントカート、③ロボットを操作するサージョンコンソールの3つの機械で構成されています。ペイシャントカートには4本のアームがあり、カメラと3本の鉗子を取り付け、すべて術者がサージョンコンソールから操作します。ロボットが自動で手術を行うわけではありません。

従来の腹腔鏡手術と異なり3Dカメラで術野を立体的に見ることができるため、解剖を細かく把握することが可能です。また、ロボット手術で使用する鉗子は多関節機能により先端が自由に曲がり、さらに手ブレ防止機能がついているため細かい作業を安定して行うことができます。

Q ロボットなどの新技術は今後の医療をどのように変えていくのでしょうか。

A 3次元視野・手ブレ防止機能により正確性が高く、また侵襲性がより低いロボット支援下手術は今後より多くの術式において標準的手法になっていくと思われます。

ロボット支援下手術は離れた場所から手術を行うことができ、遠隔手術の実証実験も行われています。今はまだ通信速度やセキュリティなどの問題がありますが、当院から離島の病院にいる患者さんの手術をおこなったり、離島の若手医師に手術指導を行ったりすることも可能になるかもしれません。医療の地域格差の改善が期待されます。

Q 仕事で大切にされていることは何ですか

A 手術は外科医だけでは行えません。麻酔科の先生方、手術室や病棟の看護師の方々はもちろんのこと、ロボット手術に関してはロボットの管理を行ってくださる臨床工学技士の方々や煩雑な手続きや施設改修などに対応してくださる事務の方々などの役割も大きくなっています。多数の職種の方の支援を受けてロボットが稼働しています。感謝の気持ちとチームワークを大事にしていきたいと思っています。

Q 今後の目標を教えてください。

A 手術手技の向上と、当院でのロボット支援下手術を安全に発展させていくことが目標です。また、大腸領域のロボット支援手術プロクターを取得しましたので次世代の術者教育にも取り組みたいと思います。

TOPICS

新任医師紹介



放射線科医長
本多（ほんだ）　功一（こういち）

7月より赴任いたしました。長崎医療センターでの勤務は初めてではありますが、早く順応し、他診療科の先生方と連携し、大村の医療に貢献したいと考えております。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



産婦人科専攻医
石川（いしかわ）　瑞季（みずき）

7月より千葉県にある亀田総合病院より参りました、産婦人科専攻医3年目の石川瑞季と申します。出身は埼玉県で出身大学は順天堂大学です。中学から大学まで10年間バレーボールをやっており、現在も時々後輩達に混ざって練習に参加しています。9ヶ月間という短い期間ではありますが、学びある充実した研修になるよう励んで参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

TOPICS

第３４回大村地域医療連絡協議会のご報告

統括診療部長　本村 秀樹

6月27日に開催された第34回大村地域医療（国病、県病、市病、医師会）連絡協議会の報告をさせていただきます。この会は新型コロナウイルスの流行で一次中断されていましたが、昨年より再開されています。

協議会は宮下賜一郎先生の司会で大村市医師会長田川正人先生、市立大村市民病院管理者松尾俊和先生、長崎県精神医療センター院長大塚俊弘先生、長崎医療センター院長髙山隼人先生の挨拶からはじまりました。そして、髙山院長が「災害医療と能登半島地震への対応」として講演されました。

参加医師数は大村市医師会37名、市立大村市民病院14名、長崎県精神医療センター　2名、長崎医療センター　63名の合計116名で多くの先生方が集まりました。同じ地域の複数の医療機関の先生が一同に集まる協議会は全国的にも少なく、協議会終了後には懇親会もあり、このような飲みニケーションの機会はとても重要と思いました。電話やお手紙でやり取りさせていただいている先生とお酒を酌み交わしながら、直接お話ができる貴重な機会となりました。Zoomを用いたWebでのカンファレンスもあるのですが、やはり対面での会話には大きな力があると思います。新型コロナウイルス感染時の素晴らしい医療協力体制はこのような活動の積み重ねから生まれていると実感しました。

大きな協議会を企画、準備いただいた大村市医師会の先生方、大村市医師会事務局の方々に感謝申し上げます。





TOPICS

令和6年度永年勤続表彰式

この度国立病院機構において３０年および２０年勤続された方々への永年勤続表彰式を、6月２４日に行いました。表彰されました当院職員の皆さま、本当におめでとうございます。



《３０年勤続表彰者》

増田　賢武（管理課長）	小森みづほ（看護師長）
浦嵜　英子（看護師）	谷口　　恵（看護師）
豊田真里子（看護師）	松永　祥子（看護師）

《２０年勤続表彰者》

長岡　進矢（肝臓内科医長）	藤本　俊史（放射線科部長）
川﨑　美幸（治験主任）	川﨑多恵子（看護師長）
宮本　瑠美（看護師長）	石丸　美幸（副看護師長）
大塩あゆみ（副看護師長）	大原千奈美（副看護師長）
小淵しのぶ（副看護師長）	玉屋さつき（副看護師長）
辻村美希代（副看護師長）	堂口　香織（副看護師長）
野口　早世（副看護師長）	前田　友紀（副看護師長）
石原加奈子（看護師）	岩永　　文（看護師）
内海奈津子（看護師）	江口　明子（看護師）
大石　景子（看護師）	楠原香代子（看護師）
田中　尚子（看護師）	蔦野佳奈子（看護師）
纐　ひろみ（看護師）	冨浦　真秀（看護師）
西山河菜子（看護師）	濵村みどり（看護師）
林田佳寿子（看護師）	藤原　淳子（看護師）
松井　知子（看護師）	松竹　　愛（看護師）
松永奈穂子（看護師）	宮本　美和（看護師）
山村さおり（看護師）	吉住　洋子（看護師）
吉本　佳美（看護師）	

合計41名（敬称略）

管理課　増田 賢武

この度は、30年永年勤続表彰を頂き誠に有難うございます。

1992年4月に当院に採用となり、11年間勤務させて頂きました。その後、九州がんセンターに昇任となり、7施設異動を行ってまいりましたが、8施設目で当院に2回目の勤務となりました。係員時代に右も左も分からない私を育てて頂いた長崎医療センターでこのような賞を頂き、やはり何かの縁があると感じております。微力ながら、少しでもこの御恩をお返し出来るよう精進してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

看護師長　小森 みづほ

この度は、30年勤続表彰をいただきありがとうございます。

当院付属の看護学校を卒業し看護師として働き始め、幾年。人生の大部分をこの久原の地で、本当にたくさんの方々にご支援を受けながら過ごしてきたのだなぁと感慨深い思いです。自分の持ち味は、人懐っこさだと思っています。患者さんやご家族、病院の職員の皆さん方がより笑顔でより健やかな毎日となるように努めていきたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

看護部　浦嵜 英子

この度は30年永年勤続表彰を頂きありがとうございました。

1993年、長崎に戻り長崎医療センターでの勤務、あっという間の30年でした。その間スタッフの方々に支えられ、多くの事を学び、看護師として仕事を続ける事ができました事に心より感謝いたします。

定年後、外来で勤務していますが、地域からさらに必要とされる病院になりますよう微力ながら尽力致します。宜しくお願いします。

看護部　松永 祥子

永年勤続30年を表彰頂きありがとうございます。

30数年前、看護学校を卒業し、国立長崎中央病院に入職しました。うっかりマイペースな私がここまで仕事を続けてこられたのは、家族の協力はもちろん職場の皆様の支えがあったからです。本当に感謝しています。あと数年ですが、仕事を続けていきたいので体調管理を行い、人の迷惑にはならないよう日々努めていきます。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

人生100年時代の

予防医療

～あなたらしく生き抜くために～

第10回 RSウイルスワクチン登場

総合診療科・総合内科　森 英毅



RSウイルス、みなさんご存知でしょうか？下気道感染を起こすウイルスのひとつです。小児では細気管支炎等で有名なウイルスですが、実は成人でも高齢、免疫不全、心臓・呼吸器疾患のある方ではときに重篤化することがあり、呼吸状態が安定しない場合には入院加療が必要なことがあります。治療は主に対症療法のみですので罹患しないのが一番です。

昨年2023年末に高齢者、妊婦を対象としたRSウイルスワクチンの効果を検証した臨床試験の結果が発表され、その有効性が確認されました。（妊婦さんの場合は妊娠時に接種し出生児のRSウイルス関連の下気道感染の予防効果を検証しています。）本研究で使用されたワクチンに該当する60歳以上の成人に対するRSウイルスワクチン（アレックスビー®筋注射用）が2024年1月に、妊婦に対するRSウイルスワクチン（アブリスボ®筋注用）が2024年6月に発売されました。今後一般集団での実際の効果や副作用、費用対効果などが随時報告されてくると思われますが、予防接種の普及によりRSウイルスによる重篤な呼吸器疾患の発生が減少する可能性があります。



院長ら VOICE Vol.2

求められていることに向き合う



各職場に4月より新人が配属されて、3か月が過ぎました。

新入職員のみなさん、元気にしていますか。現場での業務に悩みや疲労が出てきている頃だと思います。自身の到達度を他人と比べる必要はありません。一人ひとり、習得のスピードは違います。

大切なのは、『求められていることに向き合う』姿勢です。

判らないこと・出来ないことに対して、教えてもらうだけではなく自身でも学習し取り組む姿勢です。先輩たちは、その姿勢を感じて、指導・助言し、みなさんの成長を助けてくれます。それぞれの目標に向かって、成長して行きましょう。

ガーデニング便り Vol.16



今回紹介するのは、二度目の登場のアジサイです。アジサイの品種は数千種類あると言われています。縁取りがあるタイプのアジサイです。華やかですね。地植えにしても育てやすく、毎年うっとうしい梅雨の時期を乗り切るありがたい味方です。

副院長　黒木 保

院内さるく

Vol.17 医療情報システム委員会(SV会議)

医療は、患者さんの様々な情報を診察や検査を通じて収集し、それを各医療スタッフが判断し、適切な治療や処置を行うことで成り立ちます。当委員会では、診察、血液検査、放射線検査などで得られた患者さんの情報や、医療スタッフが記載する医療記録などを安全に保管し、蓄積された患者情報を医療スタッフに直ちに提供し、スタッフ間で共有できる仕組みを構築しています。これらの診療情報を、様々なセキュリティー措置を施した電子カルテで安全に管理します。また、医療の安全、診療の質の向上、患者さんの療養環境の一層の改善に役立つよう、電子カルテベンダーとともに新しい機能を考え、電子カルテを進化させています。

今月の一皿

#2024　土用の丑の日

平賀源内が広めたとされる土用の丑の日。鰻はたんぱく質、ビタミンが豊富に含まれ夏バテ防止・疲労回復に良いとされます。特に、抗酸化作用のあるビタミンEが多くバテやすいこの時期に免疫をUPするには適した食材です

栄養管理室
荒木 翔太

土用の丑の日



外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和6年8月1日現在

	月	火	水	木	金
総合診療科	当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科	★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★児嶋　知仁 山崎　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	★小森　敦正 ★山崎　一美 八橋　弘	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科	★西山　仁	★後藤　高介 ★峯　彩子	午前　★西山　仁 午後　★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患 専門外来）		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科	★安井　順一 ★片岡　こころ 山崎　悠介	★山崎　悠介 安井　順一 片岡　こころ	★安井　順一 山崎　悠介	★山崎　悠介 安井　順一	
腎臓内科	★岡　哲 山下　由恵		★伊達　雅浩 岡　哲	山下　由恵	★山下　由恵 伊達　雅浩
循環器内科 午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	★森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
循環器内科 午後	★小出　俊朗	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科	★原　敦子 池田　喬哉	★末原　照大	近藤　晃 ★池田　喬哉	★乗富　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科	午前　小林　裕児 午後　★渡辺　春香	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	午前　今泉　芳孝 午後　★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★西村　紗央里
脳神経内科（神経内科）	★徳田　昌紘 ★佐藤　和明 足利　裕哉	★岩永　洋 ★足利　裕哉	徳田　昌紘		★岩永　洋 徳田　昌紘
膠原病・リウマチ内科	★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科 午前	★本田　涼子（神経） ★山田　洸夢（第2・3・4）（心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） 桑原　義典（第1）（心臓）	★本村　秀樹（心臓） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★濱口　陽（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） 田中　茂樹（神経）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★山田　洸夢（心臓・一般）	★西口　亮（第1・3・5）（新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 池田　憲呼（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）
小児科 午後	本村　秀樹（心臓） 発達外来	★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
皮膚科 ①外来紹介・新患	★石川　博士	★里見　直義	★石川　博士	★里見　直義	★中牟田　瑠璃
皮膚科 ②旧患	里見　直義	石川　博士	中牟田 瑠璃	石川　博士	里見　直義
皮膚科 ③入院中の紹介	中牟田　瑠璃	中牟田 瑠璃	里見　直義	中牟田 瑠璃	石川　博士
外科	★黒木　保（胆・膵） 釘山　統太 （胆・膵・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★北里　周（肝・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） ★福田　明子（大腸・一般外科） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科			★田川　努 ★松本　理宗		
心臓血管外科			★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志		★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志
脳神経外科	★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午後　原口　渉	★小野　智憲 ★吉田　道春
整形外科・リハビリテーション科	伊藤　勇人 ★太田　真悟	宮本　俊之（★第1・3・5）（再 第2・4） 梅木　雅史（★第2・4）（再 第1・3・5）	★下永吉　洋平 熊谷　謙治	★伊藤　勇人 向井　順哉	★森　圭介
形成外科	★藤岡　正樹 ★西園　馨子	★古賀　一史 ★日吉　尚	★藤原　洸平	★藤岡　正樹 ★日吉尚 / 西園馨子	★藤原　洸平 ★古賀　一史
産婦人科	★古賀　恵 ★福田　雅史	★安日　一郎 ★山下　洋	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子	★福田　雅史 ★小川　真幸
泌尿器科	★大仁田　亨 錦戸　雅春	松屋　福蔵	★錦戸　雅春	★鹿子木　桂	★大仁田　亨 ★松島　俊樹
移植後フォローアップ外来	錦戸　雅春	松屋　福蔵	錦戸　雅春		大仁田　亨
耳鼻咽喉科	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★諸富　幸	★松井　彰子	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★諸富　幸	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★松井　彰子
眼科	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉
放射線科（治療）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉 中村　太祐（午後のみ）	本多　功一 武田　達哉 中村　太祐（午後のみ）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する

外来担当医一覧の最新版は
こちらからご覧ください

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.426